

令和6年度 年次事業評価書 (評価対象年度:令和5年度) 施設名:にっしん子育て総合支援センター

概要	施設所在地・所管課		日進市栄4丁目1002-2	所管課:子育て支援課
	設置目的		安心して子どもを産み、ゆとりをもって健やかに育てていける環境づくりを目的として、市民の子育て支援への関心を高めるとともに、子育て環境の向上、子育ての援助及び子育てに関する市民活動の育成を推進するため	
	指定期間・選定方法		令和4年4月1日 ~ 令和9年3月31日	選定方法:公募
	指定管理者	所在地	日進市香久山1丁目601番地chipin香久山203	
		団体名・代表者	NPO法人ファミリーステーションRin 代表理事 小川 悦子	

	令和4年度	令和5年度	前年度比
指定管理料(市委託料)	36,347千円	36,404千円	100.2%
利用料金収入	0千円	0千円	0.0%
施設利用者数	27,234人	24,654人	90.5%

分類	評価項目	評価基準	評価点 (5～1点)	
共通 評価 事項	1 法令等遵守	法令、条例、業務仕様書等に基づき、必要な施設の維持管理、点検、報告等が適切に行われている。	4	点
	2 清掃業務	業務仕様書に基づき、清掃業務・維持管理が、適切に行われている。	4	点
	3 保安警備業務	業務仕様書に基づき、保安・警備業務が、適切に行われている。	4	点
	4 業務の委託	第三者への委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切に行われている。	4	点
	5 業務記録	業務日誌及び点検、修繕等の履歴を適切に整備し、保管している。	4	点
	6 職員の配置	必要な資格、経験を有するものなど、事業計画書に即し、人員を過不足無く配置している。また、従業員の労働条件、賃金水準が、適正に確保されている。	4	点
	7 職員研修	施設の設置目的達成のために必要な研修・教育が、適切に行われている。	4	点
	8 個人情報保護	利用者の個人情報を保護するための対策を適切に講じられている。	5	点
	9 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保され、また、マニュアルが整備されている。	4	点
	10 施設利用の状況	利用者数や施設の稼働率は、前年度の実績等に比べて適切、妥当な水準にある。	4	点
	11 利用促進業務	施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動が適切に行われ、その効果が認められる。	4	点
	12 利用者支援業務	施設利用者が円滑に活動できるように、必要な指導・助言が適切に行われている。	4	点
	13 モニタリング	利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組が適切に行われている。また、事業報告書等による市への報告・説明が、適切に行われている。	4	点
	14 自主事業	施設の目的に沿った自主事業が、適切に行われている。	5	点
	15 収支の状況	利用料収入は、前年度の実績等に比べて適切、妥当な水準にある。	4	点
	16 予算執行	施設の事業収支は、適切な手続きに沿って執行されている。	4	点
特記事項	標準点(4点)を上回る 評価をした項目と理由	【8 個人情報保護】 データ管理をNAS(ネットワーク上のハードディスク)で行い、権限を持ったスタッフのみ閲覧可能としており、データのバックアップも業者に委託している。紙資料もカギ付きロッカーに保管する等の対応を行っている。さらに、ファミサポ会員管理システムについては、ネット接続しない独立したPCで管理し、ソフトを年1回更新しており、利用者の個人情報を保護するための対策が適切に講じられていると認められる。		
		【14 自主事業】 地域の子育て支援者育成のため、外部の民間助成金を活用して支援者養成講座などの各種講座を開催しており、子育て支援者のスキルアップに努めている。		
	標準点(4点)を下回る 評価をした項目と理由			
	その他特記事項			
	(施設所管課) 改善に向けた助言等の 内容	施設利用者の意見については、アンケートを実施することにより、適切に把握できるように努めていると評価できる。施設利用者以外へのWEBアンケートについては、潜在的なニーズ等を把握し、今後の事業展開していく上で大変有用と考えられるため、実施時期や実施手法については、法改正等のタイミングなどを考慮の上、検討していただきたい。		

令和6年度 年次事業評価書 （評価対象年度:令和5年度）

施設名:にっしん子育て総合支援センター

個別評価事項（設置目的に応じた内容）	1 相談・支援業務	施設の設置目的を踏まえ、相談業務の体制の整備と実施及び必要な支援に取り組んでいる。	4	点
	2 情報の受発信	市民自治活動に関する情報の収集や発信に努めている。	5	点
	3 地域との連携	地域や関係団体等との連携や協働の推進に努めている。	4	点
	4 人材育成等	市民自治活動を担う人材育成に取り組んでいる。	4	点
	特記事項	標準点(4点)を上回る評価をした項目と理由 【2 情報の発信】 インスタグラムやブログ、WEBページを定期的に更新し情報発信に努めている。特に、インスタグラムのフォロワー数は令和4年度末時点546名から令和5年度時点754名と大幅に増えており、インスタグラムによる情報発信の効果が上がっていると認められる。 また、令和6年3月から運用開始した子育てアプリ「Nびよ」にWEBふあまっぶの更新情報をRSS連携できるよう協力したことは、今後の情報発信に繋がるものとする。 標準点(4点)を下回る評価をした項目と理由 その他特記事項 （施設所管課）改善に向けた助言等の内容 今後もインスタグラムをはじめとしたSNSやWEBページなどを活用し、相談や支援、各種講座などのイベントの情報を随時発信していただき、利用者の増加や適切な支援に繋がるよう、努めている。		
総評	課題点に対する取組状況 ※昨年度指摘した課題は解消されたか。	【施設の維持管理】 天井の水漏れについては、業者による確認作業を行ったものの原因不明となっているため、今後も同様の事象が生じないか注意を払い、事象が生じた際には利用者に影響のないよう、適切に対応していただきたい。 【モニタリング】 施設利用者以外へのWEBアンケートについては、昨年度は実施できなかったが、潜在的なニーズ等を把握し、今後の事業展開していく上で大変有用と考えられるため、実施時期や実施手法については、法改正等のタイミングなどを考慮の上、検討していただきたい。	合計	
	一年間の総評 ※点数では表すことができない、指定管理者の管理運営業務における創意工夫や改善等を幅広く記載する。	昨年度と比較すると施設利用者数の減少は見られるが、コロナ禍においては、親子が利用できる施設が限られていたことが利用者数の増加に繋がっていたため、今般、コロナによる行動制限がなくなったことにより、親子が利用できる施設の選択肢が広がり、利用者数の減少に繋がったものと考えられる。しかしながら、コロナ禍以前の令和元年度と昨年度の施設利用者数を比較すると、着実に利用者数は増加している。SNS等を活用した情報発信の強化や当事者目線の寄り添い型支援などの様々な取組をしている効果が現れているものと考えられる。 さらに、支援センターへ来所できない親子については、各地区において市出張ひろばを開催しており、利用者の利便性を図っている。 令和6年の子ども家庭支援センターの設置に伴い、切れ目のない支援を行うための主要な拠点として役割を果たすことを期待する。	総合判定	A

判定基準	5点…期待する水準を大幅に満たし、優良な管理を行っている。
	4点【標準点】…期待する水準を満たし、良好な管理を行っている。
	3点…基本協定書等の内容は遵守されているが、これを上回る部分がなく課題の解消が必要な部分がある。
	2点…基本協定書等の内容を一部下回るものがあり、改善に対する課題がある。
	1点…管理運営が適切に行われたとは認められず、抜本的な改善を要する。

総合評価基準	S【優良】合計85点以上…期待する水準を大幅に満たし、優良な管理を行っている。
	A【良好】合計70点～84点…期待する水準を満たし、良好な管理を行っている。
	B【適正】合計60点～69点…一部に課題の解消が必要な部分があるが、概ね妥当である。
	C【改善】合計50点～59点…期待する水準を満たす状況になく、改善が必要である。
	D【抜本的改善】合計49点以下…期待する水準を大幅に満たしておらず、抜本的な改善が必要である。